

第3分科会 第3会場

「安心して住み続けられる
まちづくりのとりくみ」

ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス(B・C)

演題番号 3-3-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	西淀川・淀川健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
北山 良三	会長	第3分科会

発表テーマ
みんなで街づくりー公園ウォッチング（公園実態調査）のとりくみ

内容（発言要旨）

安心して住み続けられる街づくりのためにとりくんだ公園ウォッチング（調査）について報告する。

1. 調査の概要

- ①期間 2023年10月～11月
- ②対象 西淀川区淀川区内の公園66か所
- ③参加者 西淀川・淀川健康友の会会員と他16団体構成員 のべ178人
- ④調査結果の特徴

- ・全て公園に整備されるべき設備（時計・出入口のバリアフリーなど）で問題ある公園あり。
- ・雑草がひどく子どもが遊べない、不必要に樹木が伐採されている公園あり。
- ・洋式トイレ設置の要望が多数あり。

2. 西淀川区での調査後のとりくみ（大阪市をよくする会と共同のとりくみ）

- ・西淀川区内連合町会長会議に調査内容を報告し懇談を行った。
- ・「問題点改善への要望」を大阪市公園事務所に申し入れ・懇談を行った。
- ・西淀川区に対し申し入れ・懇談を行う予定。

3. 調査をとりくんで

- ・健康友の会会員と各種団体の幅広い構成員が参加し、連携して楽しく取り組むことができた。
- ・身近な要求をまとめ「安心して住み続けられる街づくり」に向けて運動化する経験ができた。

所属している組織の概要	
大阪市の北西部にある西淀川区（人口95千人）・淀川区（人口183千人）で活動。会員世帯数23,365世帯。	
TEL 06-6472-6453	メール hhidakal446@gmail.com

演題番号 3-3-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	神戸医療生協 長田北部支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
宮田 妙子	運営委員	第3分科会

発表テーマ
地域に支えられひろがり続ける「たんぼぼの家」の活動

内容（発言要旨）

長田北部支部は1999年7月に結成しました。当時の組合員数は383人。支部運営委員は5名のスタートでした。

2006年5月に生協会館「たんぼぼの家」が誕生しました。

「たんぼぼの家」を地域の居場所として軌道に乗せるために様々な活動をしました。

- ①地域を探索して危険場所をチェックし要求にまとめ自治体交渉
- ②食事会の開催。コロナ禍には配食サービスに変更し継続。今では見守りも兼ねた毎週のサンキュー弁当も実施。
- ③地域の助け合い活動。様々な地域の「困った」に応え17年間で延べ支援件数は7,971件、延べ支援者数は11,211名（24年3月末）
- ④毎月1回の資源回収。資源置き場の貸しガレージには、日常的に地域の方からの資源が集まります。
- ⑤市民花壇「たんぼぼの家」の周りにきれいな花壇をつくり、地域の方にもおすそ分け。
- ⑥夏には平和のつどい。冬にはクリスマスイルミネーション。

地域の要求に応え、工夫したとりくみで、「たんぼぼの家」は地域になくてはならない存在になっています。

所属している組織の概要	
神戸市長田区の北部に位置する支部。地域の人口は約15,000人。組合員数は約950人。	
TEL 078-641-4322	メール goto.y@kobe-iseikyo.or.jp

演題番号 3-3-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川県健康友の会連合会 能登中部ブロック	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ミウラ 三浦 ゼンキチ 善吉	中能登健康友の会代表	第3分科会

発表テーマ
民医連の事業所のない地域での健康友の会運動

内容（発言要旨）

民医連の事業所のない地域に、自治体や法人の担当部署の協力で、友の会運動を広げています。体操教室は、5人の役員だけでスタートし、口コミで参加者は少しずつ増えました。教室が定着した頃会員から「体の元気もいいが頭も大切」ということで「脳いきいき教室」と「お楽しみサロン」も開催することになりました。講師は、医療機関の専門の方です。「脳いきいき教室」では、失敗が続くと、講師の先生は「間違いが、脳を活性化し、後退した運動能力が目覚めましたね」と優しい言葉で励ましてくれます。「お楽しみサロン」では、美味しいコーヒーとケーキを食べながらの話会やトランプで楽しみました。会員の中には、「絵手紙の上手な人」や「折り紙が得意な人」「大正琴を習っている人」「ピアノなら弾けるとい人」などがいて、この人たちに1講座ずつ担当してもらいました。ミニ旅行もすることになり「お楽しみサロン」は大好評の行事になりました。友の会と民医連運動をもう少し知ってもらうため、体操教室の参加者には、「いつでも元気」の購読をすすめることにしました。現在、全員読者です。安心して住み続けられるまちづくりの運動は、まだ、一歩踏み出したばかりですが、これからも会員の意見・要望を大切に運動を進めていきます。

所属している組織の概要	
活動地域は、石川県中能登町。活動地域の人口は約21000人。所属する共同組織の人数は約120人。	
TEL 080-3000-0194	メール miu1540@yahoo.ne.jp

演題番号 3-3-4

演題取り下げ

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川県健康友の会連合会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
キムラ ヨシノブ 木村 吉伸	役員	第3分科会

発表テーマ
人間の尊厳に満ちたまちづくり～県営住宅に住む方々に寄り添って

内容（発言要旨）

目的：高齢化孤立化する約800戸の県営住宅で、現状を調査し改善が必要な課題を明確にして解決方向を検討するために、24時間訪問看護ステーションすみれと健康友の会が「県営住宅まちづくりチーム」を立ち上げ活動してきた。どの地域でも民医連事業所と共同組織が共同して、人間の尊厳に満ちたまちづくり活動を進める必要を考え実現をめざしていきたい。

活動：2020年8月に、「県営住宅まちづくりチーム」で県営住宅健康友の会会員約300人を対象に隔週訪問を開始し、現在は80歳以上28.3%に絞り日常生活や買物・入浴の状況、医療・介護の実態を聞き取り、困難があれば解決に向けた対応を行い、継続的な見守りなど課題を集めている。年に1回は全世帯を対象としたアンケートを実施。県営住宅では、健康体操・健康チェック・移動・配食などの友の会活動を実践している。

考察と結論：地区社会福祉協議会や民生委員、包括支援センターなど、関係機関との連携・共同も含めて、地域のつながりを強め広げて民医連と共同組織の課題を当日の報告を通して明確にしたい。

所属している組織の概要	
県連合会は2015年結成した全県の組織で基礎組織は支部。該当する県営住宅は、金沢市平和町2丁目にある健康友の会十一屋支部の活動地域。民医連加盟の健生クリニックは平和町3丁目存在。	
TEL 090-3885-1526	メール yoshi26916@yahoo.co.jp

演題番号 3-3-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	代々木健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イコウ タダシ 伊香 忠志	事務局長	第3分科会

発表テーマ
町会・商店会とのつながりを深め、地域ぐるみで医療の拠点を守る活動に

内容（発言要旨）

*健康なまちづくり

- ①コロナで中断していた健康講座を再開、「身近な病院であり続けたい」、「健やかな老後のために」と題して院長が講演。病院の可視化のために、お知らせの範囲を広げて取り組む。
- ②健康まつり みなさんと支えあい、この街と絆を深めることを目標に、取り組みを地域に広げようと地域訪問、宣伝を強化。メイン企画として商店会長をゲストコメンテーター、「地域の困ったに連携して、健康なまちづくり」をテーマにシンポジウム。
- ③毎週病院の多目的ルームで「ころばん体操」を再開。コロナ禍は鳩森神社の境内での青空ころばん体操だったが、院内で再開、毎回参加者が増え、友の会会員も増えている。

*地域のみなさんとの支えあい

商店会、町会の行事にはすべて参加している。これまでになく神社の盆踊り（青空健康チェック・医療相談）や例大祭（駐車場でおもてなし）に病院の医師・スタッフが参加。

コロナ禍でワクチン接種の予約のお手伝いは信頼関係を深める役割を果たした。7回、友の会独自に延べ1200人の方の予約を代行した。コロナ禍「病院支援募金」を訴え200万円、救急外来用のベッドなどを寄贈。病院への患者さんの送迎など、病院スタッフとの連携も増えている。

所属している組織の概要	
活動地域は東京・渋谷区千駄ヶ谷地域を中心に5万人、共同組織は3600人	
TEL 03-5411-9589	メール tomo-yoyogikyoudou@able.ocn.ne.jp

演題番号 3-3-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	神戸医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カワサキ トシエ 川崎 寿恵	理事	第3分科会

発表テーマ
北区支部の安心して暮らせるまちづくり・最終章

内容（発言要旨）

【目的】

私たちが安心して暮らす為には、医療介護をはじめ生活に必要な細々した要素が多岐にわたる。諸事情で生活に支障が出てから情報収集や相談を開始しても間に合わないことも多々ある。情報の多さが安心して暮らしていくには鍵となる。

2025年地域包括ケア開始までに、介護経験者、要支援者、要介護者の声を集め、必要な情報をまとめる。

【取り組み】

- ・医療介護事業所訪問隊を作り、利用者・家族・専門家の目線で16項目のチェックリストを作り訪問を開始。
- ・神戸市の市民企画に参加
- ・買い物、出前、お弁当の配達
- ・家の片付け
- ・民医連・医療生協の事業所としっかりかかわる為の利用の仕方。

【結果】

- ・同じ法人の介護事業所でも各々個性があって訪問しないとわからない特徴や短所があった。
- ・全く知らなかったNPOやボランティア団体とかかわりができ展望が開けた。
- ・要支援・要介護者本人を遠し、医療介護事業所とかかわりができて、班会に出てこれない組合員さんが役に立っていると思えることができた。

所属している組織の概要	
活動地域は兵庫県神戸市北区・組合員数は1,191人（2024年3月末現在）	
TEL 090-3728-8851	メール kwsk.kobe.24suzu@gaia.eonet.ne.jp

演題番号 3-3-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生協おおさか 豊新・上新庄支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナンノ 南野 ウメ子	こぶし通り地区 理事	第3分科会

発表テーマ
安全で安心して暮らせる綺麗なまちづくりを目指して。(ごみ拾いウォーキングの取り組み。)

内容 (発言要旨)

健康のためにと、2020年ごろから組合員2人で始めたウォーキング。ただ歩くだけでなくウォーキングしながら何かできないか?と置いていたところ、たばこの吸い殻のポイ捨てが多いのが目につきました。中には火のついたままの吸い殻も。「小さい子どもたちが、むやみに捨ったりすると危ない。」との思いから、吸い殻拾いをスタート。今では支部内に広がり、吸い殻拾いだけでなく、町中に散乱しているゴミ拾いへと発展。たまり場近くの、子どもたちが多く遊ぶ公園を中心とした、ゴミ拾いウォーキングは月1回の定期行動となりました。その成果が実り、今年の3月には大阪市より、「おおさか環境賞・奨励賞」を受賞しました。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪市東淀川区。活動地域の人口は約170,000人。所属する共同組織の人数は約1,500人。	
TEL 06-6322-9182	メール h-nakazawa@coop-osaka.or.jp

演題番号 3-3-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	NPO 法人たんぼぼ会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカムラ 中村 和司	責任者 中村 和司	第3分科会

発表テーマ
足立区内で3つの高齢者サロンに取り組んだ経験

内容 (発言要旨)

高齢者者の社会的孤立を防ぎ、フレイルや認知症を予防し、高齢者の方が地域でその人らしく暮らせる街づくりを行っています。現在、毎週月曜日に高齢者を対象に食事の提供を目的とした「いきいき月曜サロン」を行っています。また、2か所で高齢者サロン(サロン千住大川と高齢者サロンたんぼぼ)を実施しています。サロン千住大川は毎週金曜日に開催し、毎回20名前後の利用者が見えています。高齢者サロンたんぼぼは、毎月第1,3,5火曜日に開催し、20名を超える利用者が来ています。こうしたサロンを通じて、高齢者の方がいつまでも健康で住み続けられる街づくりを行っている活動について報告をします。また、こうした活動が、東都医療保健福祉協議会及び共同組織の活動のすそ野を広げることに寄与していることについても報告をします。

所属している組織の概要	
東京都23区東部地域で、高齢者の居場所作り、子育て支援、介護の総合事業など、法関連する法人や共同組織と連携して街づくりの活動を行っています。現在、高齢者サロン、子ども食堂、無料学習塾など8つの事業を行っています。	
TEL 03-3870-2034	メール kazushi-nakamura@totokyougikai.jp

演題番号 3-3-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛知	尾張健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハヤカワ マサズミ 早川 雅澄	北名古屋支部 支部役員	第3分科会

発表テーマ
《居場所・生きがい・支えあい》による〈まちづくり〉体験：サロン街「ニコニコ堂」

内容（発言要旨）

高齢者が、在宅生活を続けていくために、地域活動に参加し生きがいをもつことで、いつまでも元気に過ごすことができること、また、地域の様々な人が楽しく交流し、高齢者をはじめ、障害者、児童、家族、親子などへの理解へとつながり、生活や自主的なコミュニティを豊かにすることを通じた「安心して住み続けられるまちづくり」が求められています。

これをめざして、ひろば「ニコニコ堂」（サロン街）を、地域包括ケアシステムの高齢者サロンとしての市からの補助を受けて、100人ほどの参加で毎月1回日曜日の1時間半、開催しています。バザーや折紙や休憩などの小さなコーナーがあり、自由に楽しそうに買い物、遊び、おしゃべりをしています。子どもからお年寄りまでの世代を超えたコミュニティが、自然に育っています。モデルは、商店街や公園や神社です。

所属している組織の概要	
愛知県一宮市千秋町にある医療法人尾張健康友会を母体とする尾張健康友の会は、会員数4951名、8支部あります。 北名古屋支部は北名古屋市・清須市・豊山町の3自治体が活動地域です。会員数は155名です。	
TEL 080-4844-8878	メール nonmart2020@gmail.com

演題番号 3-3-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	尼崎医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ツジモト ナオキ 辻本 直樹	組合員活動部	第3分科会

発表テーマ
ゆかいな秋祭り in ほんでん

内容（発言要旨）

尼崎医療生協は「誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりをしよう」をスローガンに組合員活動・介護・医療の一体化を目指して、地域住民の方々との繋がりを強化するにはどうしたらよいかを地域組合員さん・支部運営委員さん・職員が一体となって様々な班会や行事に取り組んでいます。今回は2006年より2019年まで14年間継続してきた“大庄平和盆踊り”をCOVID19の影響で中止せざるを得ない状況に追い込まれ、2023年にコロナ感染症が2類から5類に移行されたことにより、再度“盆踊り”を復活させようとしていましたが、イベントを実行してきた支部運営委員さんたちの高齢化により1000人を超えるような大掛かりな行事を遂行することは困難と判断しました。しかしながら、地域住民と診療所を中心とする事業所の繋がりを保つために、小規模でもイベントを続けて行くことで意見が一致して“秋祭り”を催すに至りました。秋祭りを実施して行く上での問題点や課題、取り組み内容を報告する。

所属している組織の概要	
兵庫県尼崎市／所属組合員数：約55000人	
TEL 06-4962-4920	メール tsujimoto.nao@amagasaki.coop

演題番号 3-3-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山ひだまりの里病院／林友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カシマ ナツヨ 加嶋 夏代、 モリ ヨコ 森いく子	地域生活支援部 部長／ 林友の会会員	第3分科会

発表テーマ
住み慣れた地域で暮らし続けるために ～認知症の理解とつながり再構築を目指したカフェの取り組み～

内容（発言要旨）

「認知症になってからも住み慣れた地域で暮らし続けたい…。」この言葉は、私が出会った認知症の当事者や住民の方が口にしていた言葉である。地域包括ケアが広く語られる状況となったものの、地域で支援をしていると、周囲の理解や協力が得られずに「暮らし続ける」という事が難しい現状にあるという壁にぶち当たる。こうした壁をどう打破していくか悩んでいた時に、当院に程近い地域の民生委員との出会いに恵まれた。「地域の方が認知症を自分ごとと認識した上で支え合えるつながりをどう作っていけばいいのか」と悩んでいた民生委員、病院職員、そして地域での暮らしを願う当事者で2019年認知症カフェを立ち上げた。

立ち上げから5年。認知症があるないに関係なく出会い、つながり、理解し合う場としてのカフェは、常に多くの人の笑顔あふれる交流の場となり、認知症への偏見も薄れつつある。認知症になってからも自分らしく生きようとする人を支えるというこの関係性こそが、「認知症になってからも住み慣れた地域で暮らし続けたい」という思いへの実現に一步近づくのではなかろうか。本演題では、カフェ立ち上げからの5年の経過と今を考察する。

所属している組織の概要	
林友の会は公益財団法人林精神医学研究所(林病院、岡山ひだまりの里病院)の共同組織で、会員数は岡山市内中心に約3400名。岡山ひだまりの里病院は岡山市南区(人口約16万人)に位置している。ただし、岡山ひだまりの里病院の位置する中学校区は高齢化率35%と高くなっている。	
TEL 086-267-2011	メール hidamari_kashima@px4.harenet.jp

演題番号 3-3-12

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	京都東健康友の会 左京ブロック 岡崎支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カトウ マサヨシ 加藤 政好	岡崎支部 支部長	第3分科会

発表テーマ
タワー・マンションから京都の景観を守る

内容（発言要旨）

聖護院門跡の真ん前で、すぐ東には金戒光明寺（黒谷さん）を望める、東本願寺が所有する約1000坪の敷地に、73年の定期借地契約で、大阪に本社のある三菱レジデンスが5階建てマンションを建てる計画が持ち上がりました。

近隣住民のプライバシーや交通、景観を守りたいとい願う人たちで「聖護院・黒谷の景観を守る会」を結成し運動をすすめてきました。京都市に「門跡を見下ろすマンション計画は見直し、近隣の住環境と調和した建物になるよう指導してほしい」と要望し、3000筆以上の署名を届けたり、東本願寺にも「住民の声を聴いてほしい」と要望してきました。この地域は門跡、須賀神社、黒谷と歴史的背景を持ち、山並み背景型美観地区にも指定されています。住民が住みよく心地よい景観を守ってきた地域を何としても守りたい。

所属している組織の概要	
京都市左京区のいちばん南にある地域。かつて森があり、御所から見ると錦に輝く見晴らしで、岡崎や隣接する聖護院の地域は「錦林」と呼ばれていた。地名にこそなっていないものの、現在でも錦林小学校などの名称がある。京都大学や美術館、動物園、図書館などの文化施設や神社仏閣も多く存在し、東山を希景観を大切にしている地域。	
TEL 090-5242-4742	メール tomonokai@shinwakai-min.jp